

使用可能な停滞水防止継手は、GDTB-C3C1C3(S)、GDTB-F3F1F3(S)です。GDTB-C4C1C4には使用できません。

① 天井仕上げ材(ボード)、下地材(梁、野縁、野縁受け)、天井仕上げ面からの設置高さの確認をします。

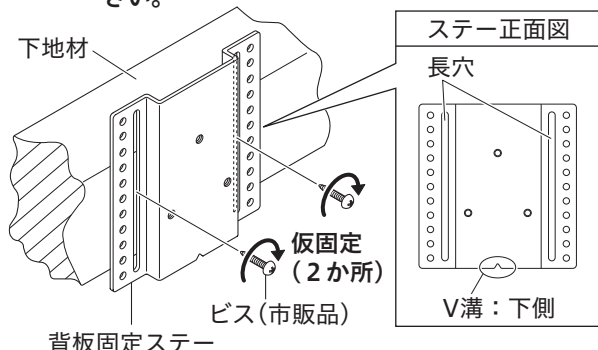
② 背板固定ステーの固定場所を確認します。
下地材を取り付けます。

【お願い】下地材は強固に固定してください。

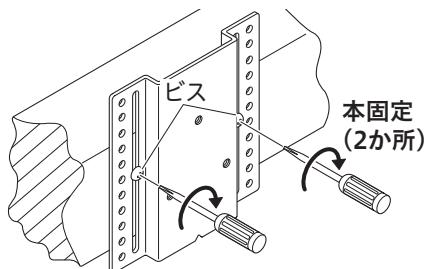
③ 背板固定ステーの長穴部分を下地材にビス2本(市販品)にて仮固定します。

※ ステーのV溝側の下端が停滞水防止継手(別売)の下端の芯になります。

【お願い】V溝がある側を下側(床側)にして施工してください。



④ 水平器等を用いて水平確認を行い、背板固定ステーの高さ調整を行った後、ビス2本(市販品)を本固定します。

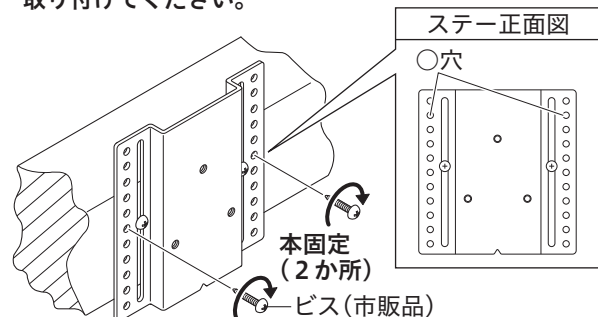


⑤ ○穴部分にビス2本(市販品)にて本固定します。

【△注意】

・背板固定ステー取り付け後、スプリンクラーヘッドをねじ込みますので、背板固定ステーが動かないように強固に固定してください。

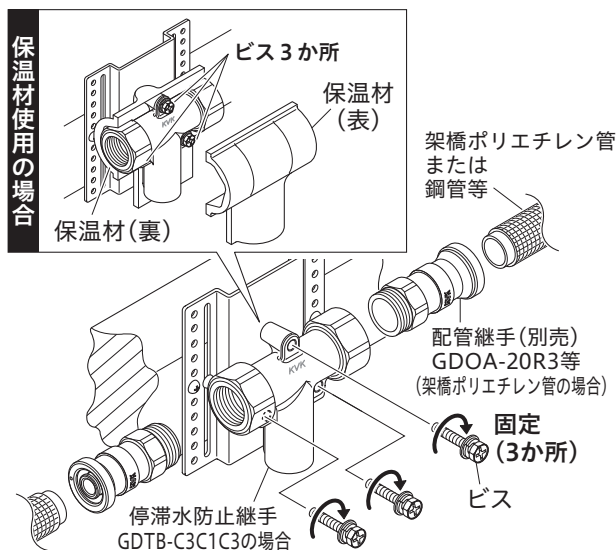
・傾いた状態で取り付けますと、継手に接続するスプリンクラーヘッド(市販品)の散水に影響が出ますので水平に取り付けてください。



⑥ 停滞水防止継手(別売)を背板固定ステーにビス3か所固定します。

保温材使用の場合

保温材(裏)の3か所をドライバーで穴を貫通させます。停滞水防止継手に保温材(裏)を貼り付け後、⑥を行います。その後、保温材(表)を停滞水防止継手に貼り付けます。保温材を貼り付ける際は、保温材に貼り付いている粘着フィルムを必ずはがしてください。



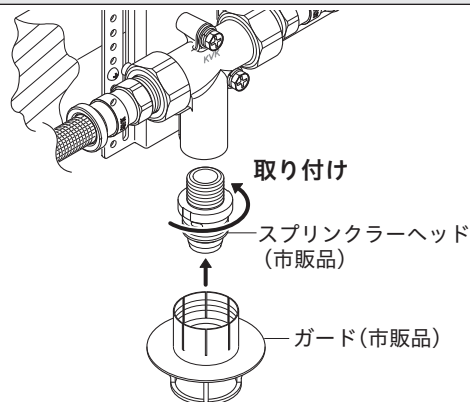
⑦ 配管継手、配管取り付けを行い、天井仕上げ後にスプリンクラーヘッド(市販品)・ガード(市販品)を取り付けてください。スプリンクラーヘッド・ガードの取り付けは各メーカーの施工方法に従ってください。

【△注意】

・給水配管部のねじ込み締め付けトルクの目安は約4500N・cmです。締め付け不足や締め付け過ぎますと、漏水のおそれがあります。

・配管継手、配管ねじ込み時に他部材に負荷がかからないようにしてください。破損のおそれがあります。

❗ スプリンクラーヘッドの取り付けは、スプリンクラーヘッドの取扱説明書に従ってください。



株式会社KVK

インターネットホームページ <http://www.kvk.co.jp/>